

n いき
まとめ

令和 8 年度国際理解ワークショップ 進行シート

令和 8 年 8 月 18 日作成

大 学 名 : 新潟国際情報大学

タイトル : もしもの時、私たちはどう支え合う？ ―震災から考える“お互い様のつながり―

1. 本ワークショップに関連する SDGs の目標に○印をつけてください。



2 : 本ワークショップの要旨

地震はいつ起こるか分からず、だれもが突然、助けを必要とする側になるかもしれません。世界では、国や立場のちがいを越えた支援が行われており、日本も被災国として支援を受ける一方で、支援する国として各国の復興にも関わってきました。

このワークショップでは、災害をめぐる国どうしの支援を入り口に、国際協力について学びます。続いて自分たちの地域での助け合いに目を向け、そして日常の「困った時はお互い様」へと、支え合いの輪と一緒に考えていきます。

3 : 本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

災害協力をめぐる国同士の支援、国際協力について学び、被災時の身近から個人の助け合いを意識できるようにする。

4 : 本トピックをとりあげる理由

近年、自分など特定の事象を最優先とする「〇〇ファースト」という考えが様々な分野で広まっている。その考えが偏に悪いものとは言えない。しかし、家族や友人、隣人など他者と生きる私たちにとって必要な考えは、互いに同じである「お互い様」を基に、日常から継続的に関係を構築し助け合い、災害時にも役立つものである。

これらのワークを通して、日本が国際協力の輪のなかで、「支援する国」「支援される国」の両方の面を持っていること、「お互い様」の考えをコツコツと持ち続けることが、日常だけでなく、災害時の対人関係に役立っていることを感じてもらいたい。

5 : 活動過程 (使用時間 : 14時45分～15時45分 (60分) 参加人数 :

過程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・ 説明・動きなど	ねらい	使用する 教材・備品	予想される反 応、その他注 意事項
導入:起 (15分)	あいさつ (5分)	大学生の自己紹介 (個人、班) 目次紹介 今日のルール説明 注意事項説明 今日のキーワード	メンバーの 名前を知っ てもらう ワークショ ップの流れ や、ルールな どを説明す る		事前に名札シ ールの作成を 促す
	アイスブレ イク(10分) 「個性を活 かして積み上 げろ!! 制限付 きペーパータ ワー」	①ゲームのルール 説明 ②「個性」のくじ引 きタイム ③タワーを作成 ④結果発表	チームメイ トと「できな いところは、 助け合う」事 を、ゲーム形 式で体験す る。	A4 用紙 20 枚 メジャー 一つ ルール説明・個性 などの紙 3 枚	4 つの制限は 「個性」と表現 する チームファシ は、応援のみ (声かけ禁止)
展開:承 (18分)	導入 「国際協力と は」 (4分) ・災害当時の 映像を見る (8分)	国際協力の概要と 中身を説明する。 ・具体的内容 ・取り組み例 ・ 日本が災害で受け た被害を実際に見 てもらう	「国際協力」 の共通認識 を持ち、これ からのワー クを取り組 みやすくす る 日本が「支援 される国」の 姿を参加者 に知ってもら う。	知識シート	映像組とレク チャー組で知 識の差が出な いように心が ける。

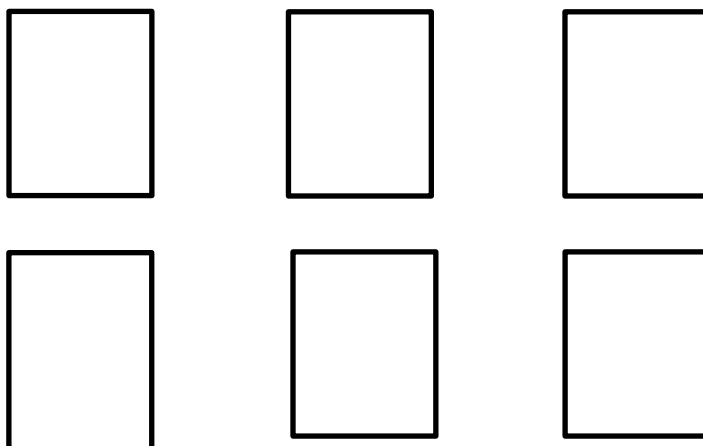
		映像は心理的なストレスがあるため、苦手な生徒さんは退出していただき、別の場所で大学生のレクチャーを行う			
	映像を見ての感想・気付いたこと (3分)	映像で感じたことを班で発表	世界規模の「お互い様」を実感してもらう	小さいホワイトボード マーカー	
	共有 (1分)				
	映像解説 (2分)	日常と災害時の国際協力が持つ役割について認識してもらう	解説をいれてさらに知識の補完を行う		
	休憩 (10分)	転のやること、考えてほしいことを問いかけ、休憩へ移す。			

発展：転 (23分)	振り返り (2分)	承の振り返りを行う			
	困りごとから考える避難所改善案 (21分)	大地震が起きたと想定し、どのようなことができるか、避難所での問題点と改善案を考える。 今回は「外国人住民」を想定して考えてみる。	東日本大震災などの大災害では「外国人住民」にも大きな影響を与えた。それを実感してもらい、それを改善する方法を考える。		
	(内訳) 困りごとを考える (5分)	まずは被災した時の困りごとを考えてもらう。 その際、参加者が海外旅行の最中だったことにして、外国人での被災を疑似的に体験してみる。	まずは疑似的に海外で被災したことを想像してもらい、困りごとをよりリアルに考えてもらう	ポストイット 模造紙	
	災害「前」と「後」(避難所)での解決案 (10分)	先ほど考えた困りごとを「災害前」と「災害後」でどのような解決案があるかを考えてもらう。	改善案を考え、外国人住民との共助を考える。	ポストイット 模造紙	
	共有・ギャラリーウォーク (5分)	班をそのままスライドさせ、他の班の意見をみて、感想を考える。			

		その後、ギャラリー ウォークを行う			
	ワークの振り返り (1分)	これらの行動が助け合いにつながっていることを教える。			
まとめ : 結 (3分)	まとめ	今までのワークの振り返り 「困った時はお互い様」 「お互い様」の関係は、日常だけでなく、災害時に役立つことを伝える。		今回のワークショップのまとめと、改めて考えてほしいことについてまとめる。	今日の目的とキーワード改めて振り返る。
予備 1分					

6 : 会場のセッティング (対面の場合のみ)

前



7 : 使用する教材

8 : 参考にした資料

・第3章 分野別に見た外交 第2節 日本の国際協力 (ODA と地球規模の課題への取組) 1 政府開発援

助（ODA）の現状／外交青書 2012

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/bluebook/2012/html/chapter3/chapter3_02_01.html （最終閲覧日 7月22日）

- ・ 2012年12月28日 外務省 諸外国などからの物資支援・寄付金一覧

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/saigai/pdfs/bussisien.pdf> （最終閲覧日 7月22日）

- ・ 2012年1月30日 外務省 諸外国・地域・国際機関からの援助チーム・専門家チーム等活動場所一覧（最終閲覧日 7月22日）

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/saigai/pdfs/katudouitizu.pdf>

- ・ 外務省 2025版 開発協力白書 日本の国際協力

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/100993506.pdf>

- ・ 開発途上国とは？ 定義や一覧、解決すべき問題や日本の支援事例を解説：朝日新聞 SDGs ACTION! 2026年1月3日更新

https://www.asahi.com/sdgs/article/15404649?msockid=2e17856865ea66520e1d91116490673e#inner_link_001_1 （最終閲覧日 7月22日）

- ・ 気候変動適応へ向けた森林遺伝資源の利用と管理による熱帯林強靱性の創出 | SATREPS 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム

https://www.jst.go.jp/global/kadai/r0301_indonesia.html （最終閲覧日 7月22日）

- ・ YouTube (203) 東日本大震災 発生当日を振り返る - YouTube

<https://www.youtube.com/watch?v=SlkcFB2Zu3A> （最終閲覧日 7月22日）

- ・ YouTube 東日本大地震 世界各国の反応 日テレ NEWS24 より

<https://www.youtube.com/watch?v=d9Y6VWTLNUA> （最終閲覧日 7月22日）

- ・ 危機管理レビューVol.9

地域における防災と災害対応 ～自助・共助・公助の現状と今後の在り方～

編集発行者：一般財団法人日本防災・危機管理促進協会

発行日：2018年3月

- ・ 復興支援ボランティア、もう終わりですか？一大震災の中で見た被災地の矛盾と再起

発行：株式会社 社会批評社

発行日：2012年5月3日

9：その他